

ゴールデンターキンの「キンタツ」が死亡しました



元気なころの「キンタツ」

よこはま動物園で飼育していたゴールデンターキンの「キンタツ」が死亡しましたので、お知らせします。

○ゴールデンターキン「キンタツ」

- (1) 性 別 オス
- (2) 出 生 日 平成 15 年 3 月 17 日 (17 歳 10 か月)
- (3) 死 亡 日 時 令和 3 年 2 月 2 日 (火) 8 時 30 分頃死亡確認
- (4) 死 因 肝不全

● キンタツのプロフィール

平成 17 年 6 月 28 日に、東京都多摩動物公園から来園しました。比較的穏やかな性格で他個体に対しても攻撃的になることがあまりなく、初めてのことでも物おじせず受け入れていました。来園して 6 年後の平成 24 年にはズーラシアで初めて繁殖したヒナタの父親になりました。令和元年にはそのヒナタも繁殖し、孫にあたるミカゲも生まれました。高齢になってからは一頭だけで過ごしていましたが、展示場でのんびりと反芻する姿をよく見せていました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ゴールデンターキンについて

和名	ゴールデンターキン
英名	Golden Takin
学名	<i>Budorcas taxicolor bedfordi</i>
分類	鯨偶蹄目 ウシ科
分布	中国の秦嶺山脈（陝西省南部・甘肅省東南部）
生態	ターキンには4亜種*が知られていますが、そのうちの中国陝西省に産する亜種で、オスは全身が金白色をしています。標高1,000～3,000mの急峻な山地の森林に小群で棲んでおり、木の葉、草などを食べます。群は家族単位で1頭の雄が複数の雌を率い、外敵等から群を守ります。体には特定の分泌線はありませんが、強い臭いのする油状の物質を分泌します。中国ではジャイアントパンダなどと並んで、国家一級重点保護野生動物に指定されています。他の亜種はインド、ミャンマー（ビルマ）、ブータン、中国西南部の山岳地帯などに分布します。 *：アッサム・ブータン・スーチョワン・ゴールデン
ワシントン条約（CITES）	附属書Ⅱ：現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合（IUCN）レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種
当園飼育頭数	5頭（オス3頭、メス2頭） ※令和3年2月9日現在 ※今回死亡した個体は含まず
国内飼育頭数	3園館 22頭（オス11頭、メス11頭） ※令和3年2月2日現在 ※今回死亡した個体は含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要となります。
- ・1日の入園者数を8千人程度に制限します。
- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。